

# あなたはどの会派の議員も同じと思いませんか？ 松政クラブは、責任会派として 市政の発展と市民要望について 責任をもってお応えします。

**松江市議会**  
**松政クラブだより**

【発行】平成20年3月  
【発行所】〒690-8540  
松江市末次町86  
松江市役所内  
【編集者】森 脇 勇 人

## ご挨拶



松江市議会 松政クラブ  
会長 立 脇 通 也

陽春の候、市民の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年は、いわゆる地域間格差の是正が大きな課題として取り上げられた年でありました。これの解決に向けて地方税の偏在是正と合わせて、地方交付税の増額及び財源保障・財源調整機能の強化を議会、会派を問わず強く求めてまいりました。活力ある日本を創造するためには第二期地方分権改革を着実に推進し偏在性の少ない地方税体系を構築するなど、地方が自らの創意工夫を存分に発揮できる行財政基盤を確立することが不可欠であり、私達松政クラブ一同真の地方分権の実現を強く求めてまいる所存であります。

一方改革の進展に伴い、議会の果すべき役割は益々重要となつてきており、市議会においても昨年12月に議会改革特別委員会を発足し議会制度のあり方について本格的な審議が行われているところであります。我々松政クラブが市民の期待と信頼に応え、議会の機能を十分に発揮していくには、議員一人一人がその責務を自覚し議員活動に邁進するとともに、議会改革が不可欠であると考えております。

新たな年度を迎えるにあたり、決意も新たに真の地方分権を推進し、新しい時代に相応しい魅力と活力にあふれた松江市の実現に向け会派一同全力で取り組んでいく所存でありますので、市民の皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

## 代表質問

十二月定例会、三月定例会において、松政クラブより次の議員による質問が行われました。詳しくは松江市議会ホームページをご覧ください。

### 十二月議会代表質問

#### 足立利人 議員

- ① 財政問題について
- ② 大橋川改修について
- ③ イングリッシュガーデンについて

#### 林 干城 議員

- ① 教育問題について
- ② 市立女子高のあり方について
- ③ 市立病院の経営について
- ④ 自殺予防対策について
- ⑤ 住宅対策について
- ⑥ 水道事業について



松政クラブ役員

## 平成19・20年度 松政クラブ役員及び議員名簿

会長	立脇 通也
副会長	足立 利人 石倉 茂美
幹事長	林 干城
監事	福田 安信 加藤 富章
副幹事長	板垣 亨 森脇 勇人 藤田 彰裕
議長	田中 弘光
副議長	田中 豊昭
監査委員	田村 昌平

<b>政策委員会</b> 委員長 板垣 亨 参与 松政クラブ七役 委員 朝倉弘太郎 " 葉山 泰子 " 安部 吉輝 " 南波 巖	<b>総務部会</b> 部長 朝倉弘太郎 部員 森脇 幸好・加藤 富章 林 干城・三島 進 比良 幸男・加藤 滋夫	<b>経済部会</b> 部長 安部 吉輝 部員 板垣 亨・福岡 俊夫 福田 安信・森脇 敏信 立脇 通也	<b>広報委員会</b> 委員長 森脇 勇人 参与 各部長 委員 三島 良信 " 福岡 俊夫 " 松蔭 嘉夫 " 森脇 幸好 " 吉金 隆
<b>教育民生部会</b> 部長 葉山 泰子 部員 吉金 隆・田中 豊昭 田村 昌平・藤田 彰裕 後藤乾院一・中村 晴洋	<b>建設環境部会</b> 部長 南波 巖 部員 松蔭 嘉夫・森脇 勇人 足立 利人・三島 良信 石倉 茂美・出川 修治	<b>会計</b> 藤田 彰裕	

## 一般質問 (二問一答)

- 森脇 勇人 議員
- 福田 安信 議員
- 南波 巖 議員
- 葉山 泰子 議員
- 吉金 隆 議員
- 松蔭 嘉夫 議員

### 三月議会代表質問

#### 立脇通也 議員

- ① 財政問題
- (1) 新しい寄付制度について
- (2) 地域再生対策費について
- (3) 20年度本市予算について
- ② 開府四〇〇年祭に関連して

## 藤田彰裕 議員

- ① 地球温暖化対策について
- ② 歴史を生かすまちづくりについて
- ③ 観光対策について

## 一般質問 (二問一答)

- 加藤 富章 議員
- 森脇 勇人 議員
- 三島 良信 議員
- 南波 巖 議員
- 板垣 亨 議員
- 安部 吉輝 議員

# 松政クラブの方針

松江市議会 松政クラブ

幹事長 林 干城

昨年の一二月議会で、議会改革特別委員会が設置されました。ここでの検討課題は、(1)来年度実施される市議会議員の定数を何人にするか、(2)議員報酬のありかた、(3)政務調査費の妥当性、(4)常任、特別委員会行政視察のありかた等々、様々な議論検討を行います。まずは3月議会までに定数を定めることにしました。検討に当たって考慮すべきことは、①市民の皆様の声が市政に的確に且つ迅速に届くには、②財源と強大な権限を持つ行政を監視し、法の精神である二元代表性を十分に機能させるには、③合併後まだ十分に納まっていけない周辺部の不安を取り除くには、④何よりも市民の皆様様の理解が得られる人数は、これらを原点として議論が進み、結果、合併の経緯もあり三十四人と決まりました。

道路特定財源の行方も大きな問題です。国民が払っているガソリン1リットル当たり約50円の内約25円が暫定税率として課税され、これが自動車重量税等の上乗せ分と合わせ、特定財源として徴収され、道路整備に充てられています。十八年度の決算で見ますと、道路事業総額約77億円の17億円が道路特定財源を含む補助金です。仮に暫定税率が廃止になりますと、本則の補助金が約6億円強となりますので松江市は11億円の補助金減となり道路整備は大きく遅れることが予想されます。

また、20年度予算は、24年ぶ

りに財政調整基金を取り崩すことなく、いわゆるブライマリーバランスの黒字予算が実施されました。そして公債の返済を重点的に進め、実質公債費比率は、22.2%まで下がりました。一方、松江市の借金は減ったとはいえ、一般会計で137.3億円、特別会計(下水道等10会計)が93.6億円、企業会計(病院、交通局等5会計)が38.6億円の計269.6億円もありこの減少にも努力いたします。

合併した目的は、このままでは自治体の存立が不可能となる怖れがあるため、近隣市町村が手を取り合ってすばらしいまちづくりを進め、子孫に誇れる地域を残しておこうというものでした。しかし、合併で財政に余裕が出来るはずが、国の三位一体の改革等による地方締め上げ策で思いもかけず財政運営が厳しくなりました。

とはいえ住民福祉の向上、地域の活性化は待ったなしです。原発三号機、大橋川の拡幅及び内水排除事業の推進、どんどん進む高齢化社会への対応、教育の問題、子育て支援、観光振興、中心市街地や周辺部の中心地域の活性化、都市部に比べ大きく広がる格差の是正、就職機会の充実等々、厳しい財政状況にあっても推進しなければならぬ課題が山積みしております。

松政クラブは責任会派として、最大会派として出来るだけ多くの皆様の意を伺い市政運営に当たりたいと考えています。ご意見を頂きますようお願いいたします。

## 平成20年度予算編成に関する重点要望と回答

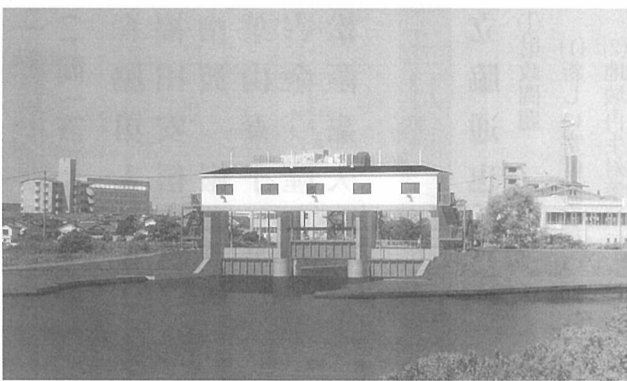
松政クラブは、毎年市民の皆様の見解を伺い予算編成に関する要望活動を行っております。本年度も重点要望事項7点、総務、教育・民生、経済・観光、建設・環境・企業局関係18項目47点について市長に要望し回答を頂きましたので主な内容をご報告いたします。(詳細については、松政クラブ議員にご照会下さい)

### 松政クラブの要望により事業が動き出した

#### 重点要望事項

1. 大橋川改修事業や中心市街地の排水対策事業を住民合意の下、早期着手・完成を図りたい。

**回答** 松江市を水害から守り、安心・安全を早期に確保するためには、治水事業は不可欠。大橋川改修事業については、浸水被害を解消するだけでなく、改修を契機としたまちづくりにも取り組む必要があり、改修に伴う営業補償や生活再建等の問



京橋水門完成予想図

題についてもきちんと整理し、市民の皆様や関係者の皆様に理解していただくことが重要だと考えています。計画策定については、住民の皆様の見解を反映させ、市民合意をえることが前提であり市議会とも相談しながら計画づくりを行います。排水対策については、京橋川水門の設置・大橋川、天神川に流入する水路、管路の逆流防止施設の設置・越流防止施設の設置・内水排除のため、小型ポンプ設置及び簡易型小型ポンプの対応準備・これらの施設について今後1～2年間で完了する予定です。

2. 原発行政の推進に当たっては、新耐震指針を踏まえ管理機能の充実を図り、安心、安全施策の強化に国、県と供に取り組みたい。



逆流防止施設

**回答** 新耐震設計審査指針に基  
づいた耐震安全性の再評  
価については、中越沖地震から  
得られた新知見の反映すべき  
事項等を踏まえて対応します。  
また、中国電力(株)の不適切  
事案の再発防止、厳格な検査  
の実施など諸課題の対応につ  
いては、積極的な情報公開に  
よる透明性を基本姿勢として  
安全協定を運用しながら、国・  
県と連携の下に取り組みます。

中国電力(株)が松江市に設  
置する原子力本部については、  
管理機能のより一層の充実等  
について時宜を得た改善等を  
求めてまいります。

**3. 財政健全化法公布に  
伴い、公営企業・外郭団  
体を含め行政改革を進め、  
市民サービスを低下させ  
ることなく、財政健全化  
に努められたい。**

**回答** 実質収支や連結実施収支  
を勘案しながら、全ての  
会計において繰り上げ償還、高  
利率の残債の借換え、地方債発  
行の抑制につとめます。

また、外郭団体も含めて引き続  
き事務事業の整理合理化、職員  
の定員管理、経常経費や補助金  
の見直しなどに取り組み効率的  
な財政運営をはかります。

さらに未利用財産の有効活用や  
市民税等の収納率向上など自主  
財源の確保に努め、サービスを

低下させることなく、財政健全  
化に努めます。

**4. 高齢者や障害者への  
サービスを更に充実され  
たい。**

**回答** 支援サービスについて  
は、高齢者や障害者の皆  
様が住みなれた地域で、心豊か  
に安全で安心して暮らせるよ  
う、地域福祉計画・地域福祉活  
動計画、高齢者保険福祉計画・  
介護保険計画、障害者基本計画・  
障害者福祉計画に基づき、福祉  
サービスの充実に努めます。

**5. 開府400年祭を成  
功させるため、周到な事  
業計画の樹立と積極的な  
取り組みを図られたい。**

**回答** 基本計画書を基にした周  
到な実施計画を策定し、  
早期よりPRに努めます。  
シンボルイベントは、19年度は

お茶と和菓子のフェスタ、20年  
12月中に決定したい。最終年度  
に実施する「松江開府大博覧  
会」の事業内容も早期に決定し  
たい。

400年祭を市民総参画で盛り  
上げるために、市民からの相  
談受付窓口として行政観光窓  
口に400年祭コーナーを設置  
いたします。また観光案内所に  
400年祭PRコーナーの開設

いたしま  
す。さら  
に、市民  
活動を支  
援し官民  
一体とな  
った積極  
的な取り  
組みを行  
いたいと  
考えてい  
ます。



**6. 児童生徒の基礎学力  
の向上と学校での一人一  
人へのきめ細かな対応を  
されたい。**

**回答** 松江市学校教育プランの  
柱に「確かな学力の育成」  
を据え、各種事業を総合的に展  
開しています。その中でも基礎  
学力の定着に重点を置き、各教

科の基礎的基本的内容の明確化  
や指導方法の改善に取り組んで  
います。児童生徒一人一人の学  
力向上のためには学級経営が重  
要であり、学級を中心とした集  
団づくりや保護者を巻き込んで  
の教育環境作りを大切にしたい。  
今後も基礎学力の定着と個別指  
導の充実に取り組みます。

**議員定数に  
関する意見**

**議員定数を34人とする。**

(理由) 松政クラブの中では、  
28人、34人と様々な意見があ  
り、党派の中でもまとめるの  
に大変な時間を要しました。

しかし議会にとつて今、最も  
重要なことは、合併により誕  
生した新松江市が一つの松江  
市として発展していくことで  
あり、市民の方が不安を抱く  
ような議員定数削減は、今回  
はとらない考えとしました。

松政クラブ議員が市民の代表  
として研鑽に勤め、合併はよ  
かったと住民に思ってもらえ  
るような言動や行動を続けて  
いき、市民の理解を得られる  
よう活動していかなければな  
りません。

**松政クラブの意見**

一、合併の際136人いた議  
員を87人減らした。定数  
が34人になれば現在より  
更に14人の削減となり今  
以上に地域の声を反映さ

せることが難しくなる。  
二、類似団体の議員一人当た  
りの人口は、約5000  
人であり松江市において  
は、議員一人当たりの人  
口は、5782人となり  
類似団体と比べても遜色  
はない。

三、国から認められた議会関  
係経費は合併算定替えに  
より10年間は同額が認め  
られる。議員定数が34人  
になれば約1億3千万円  
の経費削減となり議会費

四、松江市の行政範囲、財政  
規模は、一般会計の他5  
つの企業会計のみなら  
ず、原発の立地市で他市  
に比べて大きく、多様な  
市民の意識を市政に的確  
に反映させるためにも34  
人は必要である。

五、広くなった地域の課題な  
ど融合一体化を推進する  
には次回選挙においては  
34人が望ましい。

**7. 安心して出産や子育  
てができるよう更なる取  
り組みを推進されたい。**

**回答** この取り組みについて  
は、最も力を入れており、  
県内8市のなかでもトップクラ  
スの施策を実施しており、引き  
続き松江市ならではの子育て支  
援に取り組んでまいります。

は大幅に削減となる。

島根県の市の状況

市名	議員数	人口	面積	議員一人当たりの人口	同面積
松江市	34人	195,247人	530km <sup>2</sup>	5,743人	16km <sup>2</sup>
(現在)	48人			4,067人	11km <sup>2</sup>
出雲市	34人	146,639人	543km <sup>2</sup>	4,322人	16km <sup>2</sup>
浜田市	30人	61,381人	690km <sup>2</sup>	2,046人	23km <sup>2</sup>
大田市	24人	41,107人	436km <sup>2</sup>	1,713人	18km <sup>2</sup>
益田市	28人	52,403人	733km <sup>2</sup>	1,871人	26km <sup>2</sup>
安来市	26人	44,127人	421km <sup>2</sup>	1,697人	16km <sup>2</sup>
雲南市	26人	44,965人	553km <sup>2</sup>	1,729人	21km <sup>2</sup>

他県の状況

市名	議員数	人口	面積	議員一人当たりの人口	同面積
鳥取市	36人	198,635人	766km <sup>2</sup>	5,518人	21km <sup>2</sup>
甲府市	32人	194,136人	212km <sup>2</sup>	6,067人	6.6km <sup>2</sup>
立川市(東京)	30人	175,627人	24km <sup>2</sup>	5,854人	0.8km <sup>2</sup>

(H19.6 現在)

議員の法定定数

5万人未満	26人
5万人~10万人未満	30人
10万人~20万人未満	34人
20万人~30万人未満	38人

